

令和6年1月号

磯松



三島村立三島硫黄島学園

学校だより

感謝の気持ち

こうちょう なかむら まさと
校長 中村 真人

2025 年が始まりました。2025 年もどうぞよろしく三島硫黄島学園をお願いします。

1 月 19 日に発生した岬橋周辺の山火事では、燃える竹の破裂音が聞こえるなど、住民は不安な日々を過ごしました。幸い、集落からは離れていたため、通学路の安全を確認した上で、学校は通常どおりに実施しました。島の消防団の方々が連日連夜懸命な消火活動を行ってくださいました。おかげで人里への延焼を止めてくれました。また、自衛隊のヘリコプターや応援で来島した鹿児島市など周辺自治体の消防隊員の方々による消火活動のおかげで、けが人や建物の被害がなく無事に鎮火することができました。学校からも火事現場が見え、休み時間のたびに心配しながら消火活動を見守っていた児童生徒から「ジャンベでお礼がしたい」との声が上がりました。この気持ちがとても嬉しかったです。消防隊員の方々が帰りのフェリーに乗られる際に、全児童生徒でジャンベを演奏し、感謝の気持ちを伝えました。この場を借りて、消火活動に尽力して下さった皆様に心から感謝申し上げます。

さて、先日は、みしまっこの日に昼休み時間を利用して「百人一首大会」が3日間行われました。生活委員会が中心となり、企画・運営を行い、映画「ちはやふる」のようにな真剣にかかる姿がとても印象的でした。決勝戦まで全員が参加し、息詰まる対戦が行われました。何事にも全力で取り組む三島硫黄島学園の児童生徒はあっぱれです。

1 月は新しいスタートを切る月です。本校の教育目標である「個が輝き、ふるさとを愛する心豊かな児童生徒を育成する」を達成するために、学習者主体の様々な教育活動を通じて児童生徒たちの成長を支援していきます。本年も児童生徒たちの成長を見守り、支えていただけますようお願いいたします。

<消防隊員の皆さんありがとう>～子供たちの成長～

自衛隊や宮崎県の防災ヘリ、鹿児島市・指宿市・枕崎市・いちき串木野市・南さつま市の消防隊が1月29日に発生した山火事を鎮火してくださいました。本校の児童生徒は、その消防隊員の皆さんにジャンベでお礼がしたいと企画し、お礼の言葉を伝え、ジャンベの演奏を披露しました。県内各地の消防隊員、自衛隊の方々、本当にありがとうございました。



<読書に親しむ>

～県立図書館の先生による授業～

21～23 日の日程でブックトークやアニメーション、読み聞かせにチャレンジしました。経験したことのない子供も果敢にチャレンジし、読書の楽しさをみんなに伝えることができました。



<薬剤師講話>

22 日(水) 学校薬剤師の新名主先生にお酒やたばこ、覚醒剤等の怖さについて指導していただきました。自分の人生をよりよいものにするために学習しました。



<百人一首大会>～日本文化を大切に～

子供たちが主体的に企画して、百人一首大会が実施されました。さすが三島硫黄島学園の子供たち！！運営も見事でした。学習者主体の授業を実践しているから子供たちの主体性も育っています。



インスタ
フォロー
してね

MISHIMAKK01



みしまっこ
日記も
よろしく